

財団からのお知らせ

財団は従来から若手研究者への調査研究費の助成（年間4件程度）を行ってきました。今年度からはさらに精神・神経科学の教育・啓蒙等のセミナー・市民講座等にも援助することになりました。今年度は次の2つのセミナーに助成金を交付いたしました。

平成20年度研究集会助成金採択者 セミナー報告

◇ 第38・39回 国立精神・神経センター 夏の筋病理セミナー

開催会場	国立精神・神経センター神経研究所 疾病研究第一部および 国立精神・神経センター病院 DNA 診断・治療室
開催期日	(第38回) 平成20年7月28日(月)～平成20年8月1日(金) (第39回) 平成20年8月18日(月)～平成20年8月22日(金)
講師(演者)の氏名、 所属機関名及び職名	西野一三(国立精神・神経センター神経研究所 疾病研究第一部長) 埜中征哉(国立精神・神経センター病院 名誉院長) 後藤雄一(国立精神・神経センター神経研究所 疾病研究第二部長) 大矢 寧(国立精神・神経センター病院 神経内科医長)
参加者の職種、 および参加員数等	全国の若手神経内科医および小児神経科医。 各回11名、総勢22名
得られた成果	筋生検の方法、筋生検検体の固定・保存・運搬方法、切片作製・染色方法を学んだ後、実際に固定・切片作製・染色の実習を行い、各自で、筋生検検体の処理が行えるようになった。また、実際に筋病理標本が各自に割り当てられ、所見を付ける実習を行い、病理標本読影の基本を習得した。さらに、筋ジストロフィー・先天性ミオパチー等の筋疾患についての講義を受け、筋疾患についての基本的な知識を習得した。参加者からは、大変役に立ったとのコメントを多く頂いた。



第38回(上)、第39回(左下)の参加者と主催者西野一三部長(各写真の前列左端)、講師の一人埜中征哉(各写真前列の右から三人目)



筋病理セミナーの講義風景

◇ 第 14 回 国立精神・神経センター 小児神経セミナー

開催会場	国立精神・神経センター コスモホール
開催期日	平成 20 年 7 月 24 日 (木) ~ 平成 20 年 7 月 26 日 (土)
講師 (演者) の氏名、 所属機関名及び職名	埜中征哉 (国立精神・神経センター病院 名誉院長) 後藤雄一 (国立精神・神経センター神経研究所 疾病研究第二部長) 稲垣真澄 (国立精神・神経センター精神保健研究所部長) 小児神経科スタッフ全員
参加者の職種、 および参加員数等	小児科医師 49 名 神経内科医師 1 名
得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ・小児神経科専門医を目指す若手小児科医に小児神経学の起訴から実践的な講義を行った ・大部分の医師が小児神経を専門にしたいと発言された ・一部医師は当センター小児神経科レジデントを希望してくれた



講義風景

もうし申込み順で 50 名が参加 (申込みが遅れて、参加を断念した人が多数いました)



暗くなっても眠る人はなく、皆さん熱心に聴講していました